



学校だより「杜の子」



市川三郷町立
上野小学校

発行者（文責）
校長 保坂 久信

令和7年度全国学力学習状況調査

～上野小、いい状態です～

4月17日（木）に実施した令和7年度の「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりました。対象は6年生です。「国語」「算数」「理科」「生活習慣や学習環境等に関する質問調査」が行われました。全国平均等との比較検証、結果分析による児童の学力把握を今後の指導に生かすことをねらいとして行われた調査結果を、次のようにお知らせいたします。

1 国語について

上野小学校は県・全国平均よりもやや高い正答率でした。また、標準偏差が小さく、得点のばらつきが少ないという傾向が見られました。知識・技能面で高い成果が現れています。

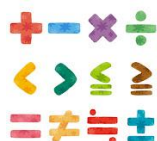
- 発言の目的理解
- 図と文章の説明の理由
- 漢字表記
- 資料読解と語句抜き出し
- △話し合いの記録や発言の理解
- △複数資料を根拠に自分の考えをまとめる記述



2 算数について

算数について、上野小学校は県・全国平均を上回る成績でした。中央値も高く、全体的に得点が高めであり、結果から安定した学力層が形成されていると言えます。

- グラフ読み取り
- 小数
- 分数計算
- 角度の理解
- △五角形の面積の求積に二つの図形を分割する



3 理科について

理科については、平均正答数が県・全国と同水準でした。しかし、中央値は全国より高く、上位層がやや厚い傾向が見られます。ただ、標準偏差がやや大きく、得点のばらつきが見られました。記述式問題に改善の余地があると考えられる結果でした。

- 実験条件
- 電磁石
- 花の構造
- 水の状態変化



- △赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いをまとめたわけについて、結果を用いて書く
- △ヘチマの花粉を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための顕微鏡の操作を選ぶ
- △水の流れや海面上昇

4 教科について

全体としては、国語・算数は全国平均を上回る結果が現れています。特に算数については、高い中央値と正答率が目立ちます。理科に関しては、全国水準と同等と考えられますが、得点のばらつきがやや大きい結果となりました。全体的には、安定した学力層と高い平均点が確認でき、学習の成果が良好と評価できます。

5 質問調査について

○教師との関係が良好で、学習に前向きに取り組んでいる ○友達や周囲の人々を大切にし、人の役に立ちたいと思っている ○読書量が全国平均を大きく上回っている ○地域に根差した活動が盛んで、児童がよく参加している ○ICT 機器を頻繁に活用し、学習に役立てている ○発表の仕方をより良いものにしようと工夫しており、授業に意欲的に取り

組めている ○学習の振り返りが定着している ○周りの人の意見を大切にし、話し合いから更に自分の考えを深めようとしたり、課題解決に取り組んだりしており、話し合い自体を大切なものと捉えている ○算数の学習に意欲的であり、互いの考えを説明することで理解を深めている ○理科の授業で仮説→実験→観察→考察と全体を通してよく考え、前向きに取り組んでいる ○普段から理科的な考えについての意識が高い

6 授業改善のポイント

(1) 記述式問題の強化

国語・算数・理科すべてにおいて記述式問題の正答率が低めなので、論理的な表現力や説明力を育成する授業改善が必要

(2) 算数の分数・数直線問題

正答率が低い設問が目立つため、分数の概念理解を図る教材や活動の導入による授業改善が必要

(3) 理科の「粒子」領域

全国平均より低いため、物質の性質や電気の理解を深める授業改善が必要

上野小学校では「ふるさとを愛し、夢をかなえるために自ら道を拓ける児童の育成～かしこく・ゆたかに・たくましく～」を学校教育目標に掲げ、生徒指導と学習指導の充実を両輪に、全職員が一丸となって子供たちの教育に日々取り組んでいます。

「全国学力・学習状況調査の報告」は児童理解をより深めるための材料の一つです。結果を全ての教職員が共通理解する中で、今後も分析結果を踏まえ参考としながら、さらに授業改善に努めて参ります。

上野の杜芸術鑑賞教室

10月23日(木)、山梨県警察音楽隊を招き、芸術鑑賞教室を開催しました。心地よい音楽に、自然に体を揺らす子供たち、手拍子でリズムに乗ったり、かけ声をかけたりして、「音楽って楽しい」という時間を過ごすことができました。

警察官や警察職員の方々に編制されている警察音楽隊の演奏とカラーガード隊の演技を鑑賞しました。



陸上記録会

10月30日(木)に令和7年度峡南教育協議会東部支会陸上記録会が、市川小学校校庭で開催されました。

運動会翌日から練習に取り組んだ6年生が、各種目に出場し、成果を発揮した日となりました。



「伸びよ 杜の子」～おもうこと～

秋真っ只中の今、上野小学校は「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」が、日々、深まっている。春、夏を過ごし、培ってきたものが、子供たちに確実に実っている。この時期は、成長という実りを子供たちの姿そのものから直接感じ取ることができる、そんな季節である。

学校にはいくつかの節目がある。その節目節目を子供たちに大切にさせたい。そして、その節目節目で、大人は子供に、自分自身では気づかない成長をそっと、伝えてあげたい。伸びた身長や増えた体重も成長の一つに違いないが、励んで、積み重ねた成長を褒め、子供たちには励み、積み重ねたことに価値を見いだす人になってほしい。

子供たちは、今、この今日一日一日を糧として、大人に近づいていく。日々、大人に近づいていく子供たちが楽しみにする大人の世界をつくっておいてあげたい。

